



## 平成 18 年 11 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結） 平成 18 年 10 月 4 日

上場会社名 キューピー株式会社 (コード番号：2809 東証第 1 部)  
 (URL <http://www.kewpie.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 鈴木 豊  
 問合せ先責任者 役職名 取締役管理本部長 氏名 佐々木 克彦 TEL (03) 3486 3331

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 法人税等の計上基準については簡便的な方法を採用しております。  
 その他影響額が僅少なものについても簡便な方法を採用しております。  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
 (内容) 連結(新規) 1 社(富士吉田キューピー株式会社)

### 2. 平成 18 年 11 月期第 3 四半期財務・業績の概況(平成 17 年 12 月 1 日～平成 18 年 8 月 31 日)

#### (1) 経営成績(連結)の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 11 月期第 3 四半期	338,177	0.1	9,695	22.3	9,849	24.0	3,907	25.5
17 年 11 月期第 3 四半期	337,882	8.3	7,927	30.1	7,944	29.9	3,114	37.6
(参考) 17 年 11 月期	455,007	7.4	12,830	18.1	12,829	17.3	5,465	22.0

	1 株 当 たり 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1 株 当 たり 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益
	円 銭	円 銭
18 年 11 月期第 3 四半期	25.53	25.53
17 年 11 月期第 3 四半期	20.36	18.97
(参考) 17 年 11 月期	35.25	32.64

(注) 売上高、営業利益などにおけるパーセント表示は、対前年同期増減率を示しております。

#### [ 経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第 3 四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善が続く景気は回復基調で推移したものの、個人消費の増加は緩やかなものとどまりました。

このような中、当社グループの当第 3 四半期までの売上高は 3,381 億 77 百万円と前年同期に比べ 2 億 95 百万円(0.1%)の増収となりました。

利益面では、鶏卵相場の落ち着きに加え、相場変動への対応力を高めたことなどが寄与し、営業利益が 96 億 95 百万円と前年同期比 17 億 68 百万円(22.3%)、経常利益は 98 億 49 百万円と前年同期比 19 億 5 百万円(24.0%)、四半期純利益についても 39 億 7 百万円と前年同期比 7 億 93 百万円(25.5%)のいずれも増益となりました。

事業の種類別セグメントの概況は、以下のとおりであります。

#### < 食品事業 >

食品業界においては、安全・安心な商品が一層求められる中、健康意識の高まりや少子高齢化などへの対応も重視され、付加価値によって差別化を図る動きが激しさを増す環境となりました。

このような状況の中、当社グループは食品の各事業において独自の技術を活用した高付加価値商品の育成と拡充に注力するとともに、主力のサラダまわり調味料では各種キャンペーンの実施や旬の素材にあわ

せたメニュー提案などの購買促進活動を推進し、需要の喚起に努めました。

購買面では、鶏卵価格は落ち着きを見せたものの、食油価格については高めの水準での値動きとなりました。

それらの結果、食品事業の売上高は、主に鶏卵相場の落ち着きによるタマゴ事業の減収から、前年同期に比べて13億93百万円(0.5%)減の2,715億75百万円となりました。営業利益につきましては、鶏卵相場の高騰の影響を大きく受けた前年同期に比べて24億21百万円(26.7%)増益の114億87百万円となりました。

商品分類別の主な状況としましては、マヨネーズ・ドレッシング事業においては健康志向に添った特定保健用食品の「キューピー ディフェ」やノンオイルドレッシング、おいしさを究めた「テイステイドレッシング」シリーズなどが伸長しました。タマゴ事業では、独自の技術を活かしたスクランブルエッグや厚焼卵などの加工品が前年同期を上回りました。野菜とサラダ事業では、お客様のご要望に添ったサラダ、取扱店の拡大とともに新メニューの提案に努めたカット野菜などが拡大しました。

#### < 物流事業 >

食品物流業界においては、同業他社との価格競争や食品の低価格化の継続による収受料金の低下に加え、燃料価格の一段の上昇など、厳しい経営環境が続きました。

このような情勢の下、当社グループは物流事業において、採算性の向上とスペース当たりの売上げ拡大を重視したアセット型サードパーティロジスティクスの提案営業に注力した結果、主に専用物流事業が堅調に推移しました。一方、キューソースルー便については、新規顧客の獲得を進めたものの売上げが伸び悩みました。

それらの結果、物流事業の売上高は、666億1百万円と前年同期に比べて16億87百万円(2.6%)の増収となりました。営業利益につきましては、荷役作業体制や車両運行の見直しなどのコスト改善の遅れにより、前年同期に比べて3億37百万円(12.1%)減の24億58百万円となりました。

#### (2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
18年11月期第3四半期	279,256	154,031	48.5	884.33
17年11月期第3四半期	271,473	128,789	47.4	842.10
(参考)17年11月期	265,724	132,412	49.8	865.32

#### 【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年11月期第3四半期	9,096	13,361	5,297	14,185
17年11月期第3四半期	3,405	9,597	3,671	13,930
(参考)17年11月期	15,686	11,625	7,415	13,127

#### [ 財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比較して135億32百万円の増加となりました。

資産では「現金及び預金」が19億77百万円、「受取手形及び売掛金」が32億23百万円、「有形固定資産」が18億59百万円、主に株式評価上昇による投資有価証券の増加や前払年金費用の増加などにより「投資その他の資産」が48億89百万円、それぞれ増加いたしました。

負債では「短期借入金」が32億68百万円減少した一方、「長期借入金」は100億9百万円増加いたしました。

純資産は、利益剰余金などの増加に加え、連結財務諸表規則の改正に伴い少数株主持分や繰延ヘッジ損

益を含めて表記している（当中間期から）ことにより、216億19百万円の増加となりました。

### 3. 平成18年11月期の連結業績予想（平成17年12月1日～平成18年11月30日）

	予想売上高	予想営業利益	予想経常利益	予想当期純利益
通 期	百万円 455,000	百万円 15,800	百万円 15,400	百万円 7,000

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 45円70銭

#### [業績予想に関する定性的情報等]

今後の見通しにつきましては、原油価格の動向、新内閣の発足や米国景気の先行きが国内経済に与える影響など、予断を許さない状況が続くものと思われま。

食品事業においては、品質第一の姿勢を貫き、常に安全・安心な商品を提供することを基本としながら、グループの技術や機能を結合して商品力の向上に努めるとともに、新しい食生活やメニューの提案を心掛け、更には各部門が連携したコスト削減を継続することにより、市場競争力の強化を推進してまいります。

物流事業では、同業他社との価格競争などによる売上げの伸び悩みや燃料価格の一段の上昇と厳しい環境にありますが、更なるコスト改善を推し進めてまいります。

#### （ご参考）

#### [売上高の内訳]

（単位 百万円）

事業の種類別 セグメントの 名 称	区 分	前第3四半期	当第3四半期	前連結会計年度
		（自平成16年12月1日 至平成17年8月31日）	（自平成17年12月1日 至平成18年8月31日）	（自平成16年12月1日 至平成17年11月30日）
食 品 事 業	マヨネーズ・ ドレッシング	85,911	87,220	115,211
	フルーツ加工・ 調 理 食 品	36,772	36,847	50,256
	タ マ ゴ	68,624	64,021	90,197
	ヘルスケア	9,825	9,690	14,952
	野菜とサラダ	71,834	73,796	97,155
	小 計	272,968	271,575	367,774
物 流 事 業		64,914	66,601	87,233
合 計		337,882	338,177	455,007

記載金額は百万円未満を切り捨てております。業績予想は本日現在における入手可能な情報および業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

## 1. 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成17年11月30日)		当第3四半期 連結会計期間末 (平成18年8月31日)		増 減	前第3四半期 連結会計期間末 (平成17年8月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)		%		%			%
流動資産							
現金及び預金	13,153		15,130		1,977	13,956	
受取手形及び売掛金	66,066		69,289		3,223	68,190	
有価証券	27		22		5	27	
たな卸資産	16,224		17,532		1,308	21,289	
繰延税金資産	1,894		1,847		47	1,481	
その他	3,758		4,492		734	4,636	
貸倒引当金	607		549		58	621	
流動資産合計	100,517	37.8	107,765	38.6	7,248	108,960	40.1
固定資産							
有形固定資産							
建物及び構築物	109,040		111,549		2,509	108,387	
機械装置及び運搬具	113,280		114,209		929	111,539	
土地	39,374		40,402		1,028	39,004	
建設仮勘定	3,392		5,754		2,362	4,038	
その他	7,905		8,045		140	7,801	
減価償却累計額	155,186		160,294		5,108	153,531	
有形固定資産合計	117,807	44.3	119,666	42.9	1,859	117,239	43.2
無形固定資産							
連結調整勘定	63		39		24	71	
その他	2,923		2,593		330	2,813	
無形固定資産合計	2,986	1.1	2,633	0.9	353	2,884	1.1
投資その他の資産							
投資有価証券	22,971		25,149		2,178	21,778	
繰延税金資産	1,063		990		73	1,335	
その他	20,240		22,986		2,746	19,102	
貸倒引当金	303		265		38	305	
投資その他の資産合計	43,971	16.6	48,860	17.5	4,889	41,910	15.4
固定資産合計	164,766	62.0	171,159	61.3	6,393	162,035	59.7
繰延資産							
開業費	440		330		110	477	
社債発行差金	-		-		-	0	
繰延資産合計	440	0.2	330	0.1	110	477	0.2
資産合計	265,724	100.0	279,256	100.0	13,532	271,473	100.0

(単位 百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成17年11月30日)		当第3四半期 連結会計期間末 (平成18年8月31日)		増 減	前第3四半期 連結会計期間末 (平成17年8月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(負債の部)		%		%			%
流動負債							
支払手形及び買掛金	37,133		36,814		319	39,220	
短期借入金	17,662		14,394		3,268	19,040	
1年以内に償還予定の社債	-		-		-	200	
1年以内に償還予定の転換社債	-		-		-	18,629	
未払金	20,042		21,097		1,055	19,081	
未払法人税等	1,424		2,420		996	1,393	
繰延税金負債	2		2		0	4	
売上割戻引当金	726		1,778		1,052	2,231	
賞与引当金	1,707		3,226		1,519	3,139	
役員賞与引当金	-		76		76	-	
その他	5,611		2,788		2,823	3,770	
流動負債合計	84,310	31.7	82,599	29.6	1,711	106,710	39.3
固定負債							
社債	10,000		10,500		500	-	
長期借入金	10,380		20,389		10,009	11,006	
繰延税金負債	5,124		6,105		981	2,247	
退職給付引当金	2,901		2,802		99	2,850	
役員退任慰労引当金	1,161		1,166		5	1,092	
その他	1,513		1,660		147	1,527	
固定負債合計	31,081	11.7	42,625	15.2	11,544	18,723	6.9
負債合計	115,391	43.4	125,224	44.8	9,833	125,434	46.2
(少数株主持分)							
少数株主持分	17,919	6.8	-	-	17,919	17,250	6.4
(資本の部)							
資本金	24,104		-		24,104	24,104	
資本剰余金	29,418		-		29,418	29,418	
利益剰余金	79,295		-		79,295	76,946	
その他有価証券評価差額金	4,448		-		4,448	3,184	
為替換算調整勘定	2,353		-		2,353	2,366	
自己株式	2,500		-		2,500	2,497	
資本合計	132,412	49.8	-	-	132,412	128,789	47.4
負債、少数株主持分及び資本合計	265,724	100.0	-	-	265,724	271,473	100.0

(単位 百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成17年11月30日)		当第3四半期 連結会計期間末 (平成18年8月31日)		増 減	前第3四半期 連結会計期間末 (平成17年8月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
( 純 資 産 の 部 )		%		%			%
株 主 資 本							
資 本 金	-		24,104		24,104	-	
資 本 剰 余 金	-		29,432		29,432	-	
利 益 剰 余 金	-		81,142		81,142	-	
自 己 株 式	-		2,273		2,273	-	
株 主 資 本 合 計	-	-	132,405	47.4	132,405	-	-
評 価 ・ 換 算 差 額 等							
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	-		5,168		5,168	-	
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	-		14		14	-	
為 替 換 算 調 整 勘 定	-		2,146		2,146	-	
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	-	-	3,036	1.1	3,036	-	-
少 数 株 主 持 分	-	-	18,590	6.7	18,590	-	-
純 資 産 合 計	-	-	154,031	55.2	154,031	-	-
負 債 純 資 産 合 計	-	-	279,256	100.0	279,256	-	-

## 2. 四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

科目	前第3四半期 連結会計期間		当第3四半期 連結会計期間		増減	前連結会計年度 (自平成16年12月1日 至平成17年11月30日)	
	(自平成16年12月1日 至平成17年8月31日)		(自平成17年12月1日 至平成18年8月31日)			金額	百分比
	金額	百分比	金額	百分比			
		%		%			%
売上高	337,882	100.0	338,177	100.0	295	455,007	100.0
売上原価	258,940	76.6	255,921	75.7	3,019	346,520	76.2
売上総利益	78,942	23.4	82,256	24.3	3,314	108,487	23.8
販売費及び一般管理費	71,015	21.1	72,561	21.4	1,546	95,656	21.0
営業利益	7,927	2.3	9,695	2.9	1,768	12,830	2.8
営業外収益	946	0.3	988	0.3	42	1,276	0.3
受取利息及び配当金	379		401		22	465	
持分法による投資利益	162		210		48	183	
その他	404		375		29	627	
営業外費用	929	0.2	833	0.3	96	1,277	0.3
支払利息	398		399		1	544	
その他	530		434		96	733	
経常利益	7,944	2.4	9,849	2.9	1,905	12,829	2.8
特別利益	206	0.0	172	0.1	34	361	0.1
固定資産売却益	18		14		4	24	
投資有価証券売却益	137		28		109	245	
その他	49		128		79	91	
特別損失	877	0.2	1,021	0.3	144	1,166	0.3
固定資産売却損及び除却損	387		793		406	554	
その他	489		228		261	612	
税金等調整前四半期(当期)純利益	7,273	2.2	9,000	2.7	1,727	12,024	2.6
法人税、住民税及び事業税	3,263	1.1	3,765	1.1	502	3,388	0.7
法人税等調整額	177	0.0	526	0.2	349	1,910	0.4
少数株主利益	717	0.2	800	0.2	83	1,260	0.3
四半期(当期)純利益	3,114	0.9	3,907	1.2	793	5,465	1.2

### 3. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科目	期別	前第3四半期 連結会計期間	当第3四半期 連結会計期間	対前第3 四半期比	前連結会計年度の連結 キャッシュ・フロー計算書
		(自平成16年12月1日 至平成17年8月31日)	(自平成17年12月1日 至平成18年8月31日)		(自平成16年12月1日 至平成17年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー					
税金等調整前四半期(当期)純利益		7,273	9,000	1,727	12,024
減価償却費		9,185	9,262	77	12,279
減損損失		-	142	142	-
持分法による投資利益		162	210	48	183
退職給付引当金の増加額(減少額)		2,707	3,720	1,013	3,661
役員退任慰労引当金の増加額(減少額)		516	4	520	447
売上割戻引当金の増加額(減少額)		1,262	1,052	210	242
役員賞与引当金の増加額(減少額)		-	76	76	-
賞与引当金の増加額(減少額)		1,501	1,518	17	70
貸倒引当金の増加額(減少額)		66	96	162	50
受取利息及び受取配当金		379	401	22	465
支払利息		398	399	1	544
投資有価証券売却損(益)		137	28	109	231
固定資産売却損益及び除却損		368	778	410	529
売上債権の減少額(増加額)		2,534	3,187	653	374
たな卸資産の減少額(増加額)		5,054	1,284	3,770	43
仕入債務の増加額(減少額)		1,607	269	1,876	353
未払金の増加額(減少額)		812	1,887	2,699	777
未払消費税等の増加額(減少額)		102	220	118	168
役員賞与の支払額		87	70	17	88
少数株主に負担させた役員賞与の支払額		29	31	2	29
その他		1,115	2,532	1,417	1,824
小計		8,026	12,066	4,040	20,679
利息及び配当金の受取額		460	296	164	540
利息の支払額		251	402	151	532
法人税等の支払額		4,830	2,863	1,967	5,001
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,405	9,096	5,691	15,686
投資活動によるキャッシュ・フロー					
有価証券の取得による支出		19	11	8	27
有価証券の売却等による収入		19	16	3	27
有形固定資産の取得による支出		7,994	11,455	3,461	10,707
無形固定資産の取得による支出		525	494	31	857
投資有価証券の取得による支出		445	865	420	497
投資有価証券の売却による収入		1,497	72	1,425	2,646
貸付けによる支出		3,286	571	2,715	5,813
貸付金の回収による収入		1,943	113	1,830	4,554
定期預金の預入れによる支出		210	1,025	815	220
定期預金の払戻による収入		357	26	331	369
その他		934	833	1,767	1,100
投資活動によるキャッシュ・フロー		9,597	13,361	3,764	11,625
財務活動によるキャッシュ・フロー					
短期借入れによる収入		57,651	60,050	2,399	79,247
短期借入金返済による支出		49,344	63,431	14,087	72,733
長期借入れによる収入		550	12,563	12,013	800
長期借入金返済による支出		2,771	2,497	274	3,604
社債の発行による収入		-	500	500	9,937
社債の満期償還による支出		-	-	-	200
転換社債の満期償還による支出		-	-	-	18,629
少数株主からの払込による収入		-	17	17	183
配当金の支払額		2,066	1,990	76	2,066
少数株主への配当金の支払額		157	156	1	157
自己株式取得による支出		189	5	184	192
自己株式売却による収入		-	246	246	-
財務活動によるキャッシュ・フロー		3,671	5,297	1,626	7,415
現金及び現金同等物に係る換算差額		0	25	25	30
現金及び現金同等物の増加額(減少額)		2,520	1,058	3,578	3,324
現金及び現金同等物の期首残高		16,451	13,127	3,324	16,451
現金及び現金同等物の期末残高		13,930	14,185	255	13,127

## 4. 四半期連結セグメント情報

### 1. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(自平成16年12月1日 至 平成17年8月31日)

(単位 百万円)

	食品事業	物流事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	272,968	64,914	337,882	-	337,882
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6	18,065	18,071	(18,071)	-
計	272,974	82,979	355,954	(18,071)	337,882
営業費用	263,908	80,184	344,092	(14,137)	329,955
営業利益	9,066	2,795	11,861	(3,933)	7,927

当第3四半期連結会計期間(自平成17年12月1日 至 平成18年8月31日)

(単位 百万円)

	食品事業	物流事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	271,575	66,601	338,177	-	338,177
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7	18,041	18,048	(18,048)	-
計	271,583	84,643	356,226	(18,048)	338,177
営業費用	260,096	82,184	342,280	(13,798)	328,482
営業利益	11,487	2,458	13,945	(4,250)	9,695

前連結会計年度(自平成16年12月1日 至 平成17年11月30日)

(単位 百万円)

	食品事業	物流事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	367,774	87,233	455,007	-	455,007
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	9	24,245	24,254	(24,254)	-
計	367,783	111,478	479,262	(24,254)	455,007
営業費用	353,425	107,457	460,883	(18,706)	442,176
営業利益	14,357	4,021	18,379	(5,548)	12,830

(注) 事業区分の方法

事業区分の方法は、業種別に区分しております。

各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
食品事業	マヨネーズ・ドレッシング、フルーツ加工・調理食品、タマゴ、ヘルスケア、野菜・サラダ等
物流事業	運送・倉庫業

前第3四半期連結会計期間、当第3四半期連結会計期間および前連結会計年度における営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、4,108百万円、4,301百万円および5,782百万円であり、その主なものは親会社の管理部門及び連結子会社ケイ・システム㈱と㈱キューピーあいに係る費用であります。

### 2. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間、当第3四半期連結会計期間および前連結会計年度の本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報は開示しておりません。

### 3. 海外売上高

前第3四半期連結会計期間、当第3四半期連結会計期間および前連結会計年度の海外売上高がいずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高は開示しておりません。